

モルゲンロート-11

P1 HPで閲覧の多かった「議会の公開」

P2 R1.12月一般質問、P4 R2.3月一般質問

P6 令和2年度予算審査における質疑・意見

P7 町営代替バス運行委託料の積算

P8 読者の声、編集後記

本誌1面は、右HPのブログ「モルゲンロート」で、R1.9～R2.2月の
中で、閲覧数が多かった記事のうちの一つを紹介いたします

4月1日現在で、多かった順は次のとおりです

「議会の公開」(9/30) 閲覧数108

「3月の全員協議会会議録」(9/2) 〃107

「号外取下げ」(9/20) 〃100

なお、令和元年1年間でのベスト閲覧は「マンガーいただきました」
(7/27)で、閲覧数は210でした

「議会の公開」(議会の在り方検討特別委員会での議論:一部略)

令和元年9月30日午前10時20分ごろから12時20分ま
で、議会活動の在り方検討特別委員会が開催されました

そのなかで、議会の公開として、一般質問などの生放送
やYouTube掲載などのネット視聴に対し、次のような意見
が出ました

「これから先の分を公開するかどうか議論したい。」

「やりたくない。未熟な質問を行っていることをそのま
ま出すことになる。」

「録画放送を見ればいい。世界中に出す必要はない。」

「ネット配信は良くない。悪意のある方からの改変も考え
られる。」

杉村宏委員の意見

一般質問など会議の傍聴は(町外の方でも)どなたでも
できるもので、議会は公開が原則で、大いに公開し、主権
者などの意見を積極的に取り入れていくべきだ。そこが、
議会制民主主義の肝だ。現在でも、会議の議事録は、過去
の分も含めて、紙でも町議会HPでもいつでも閲覧できる

民主的な議会運営を行うために、議会の公開は最も重
要で、今の時代に生中継やネットでの閲覧は不可欠だ

6月の議会を傍聴していただいた高校生の感想は「また
見てみたい」「責任を持って投票したい」とあった。一般的
に、シルバー民主主義と呼ばれることもあるが、岩美町議
会の議論を、町内の中高生や若い方、お忙しい方であつて
も、スマホやPCで何時でも閲覧いただける環境にしてい
くべきだ。国の国会や他の自治体の議会ではお話になら
ないレベルだと感じる。早急に、過去の分も含めて、町民の
方の身近に感じられる岩美町議会にするべきだ

第11号 令和2年(2020年)4月13日(月)

杉村ひろし後援会活動通信誌、春秋発行原則全戸配布
連絡先 浦富1690番地1 杉村宏 TEL 0857-72-0981

<https://uradome.grupo.jp/>
(上記HPに本誌等を随時掲載しています)



HPのクイズ4択(FC)から「[A]は〇〇のかたまりである。」と
新聞に記載されていました。〇〇はなに？」

数学 科学 語学 化学

答えは、P8の編集後記のなかに記載しています

その後の「議会の公開」:生中継・ネット配信実施

令和元年12月議会から次のように行われました
一般質問を生放送し、休憩時間中は映像のみで、音声は
出さない。ネット配信は3カ月間のみ掲載

杉村宏委員の意見

「傍聴者と同じ情報を提供すべき。答弁に窮した場合等に
休憩するが、音声もそのまま放送すべきだ。ネット配信は
少なくとも過去5年間程度、閲覧できるようにすべき」

3月議会一般質問(3/11)の生中継を見られた町民の声

「町議会の一般質問を生放送するというので、せっかくだ
し、それでもいい、最初から最後まで一日中見てしま
いましたが、議員のレベルの低さに目を覆いたくなりました。
ひどすぎる。何を言っているのか。町長も覇気がなさず
る。TVのボリュームを35まで上げないと何を言っている
のか聞こえない。質問する議員のレベルもひどいが、質問
しない議員は、毎回質問していないけれど、こんな退屈な
時間をどのように過ごしているのか。自分の意見はないの
か。なぜ、質問しないのか。質問しているひどすぎる議員
未満なのか。そして、昼休憩中、人のあまりいない議場を
生放送する意味が解らない。昼休憩を生放送すると判断し
た人は誰なのか。」

杉村宏議員

- 1.高齢者の交通環境整備を
- 2.100円バスの実施を
- 3.若美病院の医師等の医療従事者における勤務時間はどうか
- 4.町行政の情報公開を



(R02.04.02町議会HPに掲載されている動画のページ) **エル11 P1**

〈令和元年12月17日 杉村宏議員一般質問〉
(議事録:HPのブログ「モルゲンロート」R01.12.17)

1 (問) 町内の時間的以遠住居への救急時間は

(答) 鳥越集落22分、岩美病院20分、中央病院16分

杉村 岩美消防署から救急車の応急対応の時間は、町内各地区でどうか。岩美病院搬送に必要な時間はどうか
総務課長 ①東地区陸上 10 分、陸上公民館。②田後 10 分、③網代8分、④大岩地区の大谷4区4分、⑤小田地区の小田集落 10 分、⑥蒲生地区の鳥越集落 22 分だ。岩美病院へは①12分、②12分、③11分、④7分、⑤14分、⑥20分だ
杉村 東地区で陸上公民館とのことだが、田河内を想定する。田後、網代は人力だ。小田の大坂、唐川も町内だ
総務課長 田後・網代の人力について、そのような問い合わせの仕方をしていない。小田地区の大坂は1軒だ
杉村 役場として、田河内や唐川、仮に1軒だとしても、そのことを聞かないという姿勢が大変問題だ
町長 一般的なことで捉えている
杉村 通告書に、時間的以遠住居という表現をし、田河内や唐川、田後や網代の人で担いでいかなければならぬ、一番、時間的に応急対応が難しい場所を考えながら、救急搬送を考えていかなければならないと私は考える
岩美病院から中央病院までに要する時間はどうか
総務課長 約 16 分だ
杉村 それは病院再編B項目の 20 分以内に対応するか
病院事業管理者(以下「管理者」) そうということになる

2 (問) 100 円バスを新年度から導入すべきだ

(答) 手だてが見出せておらず、行き詰まっている

杉村 運転免許自主納の加速化もあり、町内公共交通は期待され、切実の度合いは増している。公共交通アンケートに多くの町民が答え、対策に期待されながら、町行政からの提案はない。対策を構築するまでも含め、新年度から町内バス利用料金の 100 円均一に踏み切るべきだ。交通事業者や地元代表者との協議は、どうなったか
町長 実態調査アンケートで、本数が少ない、運賃が高いなどダイヤや運賃、バスの小型化や予約式運行での効率化、道の駅や鳥取市内を目的地とするルートの見が多い。日本交通と、ルート変更や増便、バス料金定額制導入、予約式運行による効率化の意見交換をした。人員不足で路線や便数の増加は困難、料金体制は距離に応じた料金で岩美町地域を定額とすることは困難、予約式運行は予約の人員が必要で経費削減にならない意見だった。利便性を低下させない提案が見出せない。タク

シーをバスのような運行や、夜間対応を、タクシー業者に聞き取りを行ったが、人員確保や採算が厳しく、夜間対応は採算がとれない。具体的な取組案が示せていない中で、地元代表者との協議は実施ができていない
杉村 町行政の提案はいつごろをめどとしているか
町長 バス運行の見直しは、利便性と経済性のバランスを考え、できる限り現状の定期路線バスを維持していきたい。具体的な方針や有効な手だてが見出せておらず、方針案検討の進め方にも行き詰まっている
杉村 町営の 100 円バスは、理想的な手段に至るまでも含めての手段だ。メリット、デメリットをどう考えているか
企画財政課長 運賃形態の簡素化でわかりやすくなる。最低運賃 160 円より安くなり、気楽に乗っていただける。利用者増加も考えられる。運賃収入が減少し、町の持出しが増加する。民間バスの料金変更が難しく、料金変更ができない場合、民間と町営との地域間格差が生じる
杉村 30 年度決算は、2万 9,758 人の乗車で、100 円なら 297 万円にとどまり、353 万円が減収で、その8割は特別交付税措置だ。2割(70万円)が町の新たな持ち出しか
町長 制度上はそういった理解でいい
杉村 2割(70万円)が新たに町の負担になるが、町営バスだけなら難しい話ではない。町営バスの 100 円料金への移行は、料金のみの変更で新年度からの実施も可能だ。デメリットを勘案しても町営バスに実施すべきだ
町長 町の負担増や、町営と民間との料金体系が大きく異なり、競合区間の整合性等とれない。考えてない
杉村 町内を運行する民間バス路線において、岩美駅または岩美病院を起点として南側、西側とも町内部分は 100 円にした場合のメリット、デメリットはどうか



(R02.04.02現在の(株)日本交通岩井線の蕪島バス停の鳥取駅行時刻表。蕪島から岩美駅までの料金は730円(日本交通岩美営業所)だそうです。小田から岩美駅までは450円です。) **モル11 P2**

町長 町営バスと同じようなことが想定される

杉村 100円なら、通常料金との差額は年間どれぐらいか
企画財政課長 岩美内で乗降人員の把握ができていない。

日交も数字が出せないの、補填額も算出できない

杉村 バス利用実態調査は毎年行われている。長野県の飯綱町は、飯綱町から町境を越えて長野市までの民間バスに対し、飯綱町内は均等額 200円に抑えている。距離に応じた料金との差を、長電バスに支払っている。長電バスと飯綱町も利用実態に基づいて算出されている。岩美町と日本交通の場合は算出できないか。長野でできて鳥取でできない理由は何にか

企画財政課長 長野電鉄のバス会社の協力によりカウントした数字で補填している。現在の段階で岩美町内の乗降は把握できていない。利用実態調査は、日本交通が年に1回1日だけ調査を行っているが、国庫補助申請の数値だ。町内の利用者数をはじき出すのは無理がある

杉村 長野のできるのであれば、日本交通の協力もいただきたい。民間バスの料金変更の協議を行うべきだ

町長 協議は考えていない。また、一旦行った場合、またもとに戻しますよということは、負担感が増す

杉村 町民に見える行政の動きをしていただきたい

3 (問) 岩美病院医師の負担軽減を

(答) 提案のような考え方は持ち合わせていない

杉村 岩美病院の救急医療は医師等の人的負担も大きい。岩美病院の救急患者のうち、新温泉町からの受診の割合は約7分の1だ。浜坂病院から週1回当直医師の派遣を受け入れたい。派遣費用は兵庫県側に負担願いたい

岩美病院事務長(以下「事務長」) 浜坂病院の救急対応時間は午後10時まで、事前電話を依頼している。当直医師は、平日以外、外部医師に応援を依頼している

町長 どの病院も医師不足で、派遣ができるんだろうかと思う。提案のような考え方は持ち合わせていない

杉村 岩美病院は、医師確保のため鳥取県に対する要望で「北但馬地域の夜間救急体制が十分機能しておらず、岩美病院の医師の負担が大きく、限界に近い状態で診療に当たっている。」と要望書に明記した。平成29年、岩美病院の負担を北但馬自治体と認識共有が必要だとする趣旨で質問し、当時の町長は、実態は十分承知していると答弁した。浜坂病院も苦しいかもしれないが、岩美病院だって苦しい。だからこそ、要望を県に出している。この実態を北但馬の自治体と共有しているか

町長 新温泉の町長は感謝している。

杉村 岩美町の町民の方々の負担で4,000万円の赤字を補填している。新温泉町の町長の感謝もわかるが、町民の負担であることを、もっと真剣に考えるべきだ

町長 岩美病院の救急対応は、町民の負担で行っているが、受益負担が考慮されるものではない。また、岩美病院が医療を行う費用は、新温泉町の皆さんが岩美病院の受診をしようがしまいが、費用としては同じ額だ。ドクター負担では過重になっている

4 (問) 岩美病院管理の医師住宅は民間払下げを (答) 5棟のうち利用実態のない3棟を検討する

杉村 岩美病院の医師住宅の棟数と、利用実態は
事務長 5棟だ。浦富殿町の2棟は、薬剤師等、現代美術展の作家が利用している。2棟以外、約10年間利用実績がない。旧病院横の浦富の最終使用が平成12年3月、駅前7区は平成21年11月、岩井は平成15年3月までだ

杉村 長期の使用がされていない。医師住宅機能は、近隣民間施設で代替できる。利用されていない3棟は民間に払い下げて、土地・建物の有効利用に資するべきだ

管理者 派遣の先生も全て民間施設に入っている。利用実績のない3棟は、取り壊しの検討をする。3棟のうち底地の病院所有は1棟で、2棟は借地だ。原状回復し土地所有者に返却したい。病院所有の1棟は利活用がない場合、民間払い下げも検討したい

杉村 この10年以上、借地料支払いをされてきたのか

管理者 無償の使用貸借で、賃料は払っていない

杉村 町内の土地は有効活用をできるような体制にしておくべきだ。20年ぐらいの空白期間は相当疑問だ

杉村 (このたびの質問全般で) 町行政が町民の皆さんの期待に応えているとは言いがたい答弁だ



(R02.04.02 右側の階段を上ったところにある岩井の医師住宅。廃止が検討される。左奥は老人福祉センター。) **メル11 P3**

《令和2年3月11日 杉村宏議員一般質問》

(議事録:HPのブログ「モルゲンロート」R02.03.11)

1 (問)高齢者の交通環境整備を

(答)町補助廃止、駅前駐車場なし、駅改良なし

杉村 国は、高齢者の安全運転を支援する整備を目指し、安全運転を支援する機能を持つ自動車に限定する免許や地域に限定する免許も検討している。安全運転サポート車に限り運転できる任意性の限定免許も創設される

昨年5月より開始した高齢者先進安全自動車購入費補助事業を、国のサポカー補助金制度開始により、町の制度は廃止すると報告されたが、反対だ。本年2月までで8件の実績だ。このような実績で岩美町の高齢者の方々のブレーキ踏み間違いが防止できるのか。希望される方全員に搭載していただきたい。国の補助が発足することを契機とし、その制度に町の制度を上乗せして運転をサポートする車を、岩美町域に普及させるべきだ

町長 高齢者の安全運転を支援することを目的として、衝突被害軽減ブレーキ、車線逸脱警報、ただの踏み間違い、急発進等抑制装置の3つを備えた先進安全自動車の購入費の補助制度を設け、町民に利用いただいた。国に先駆け町独自で取り組みした。国が、町が設けている制度以上の充実した補助制度を始めたことから、町の先導的な役割は達成したと判断し廃止する

杉村 高齢者の中で、どの程度の普及率か

町長 把握していない

杉村 国のサポカー補助は、後付けも補助する。上乗せして補助すべきだ

杉村 町内の買い物等で自家用車を利用しても、町外に移動するのに地域高規格道路や一桁国道を利用することは少し自信がないお話を聞く。町内は自家用車、町外へは列車やバスを利用なされる高齢者のために、例えば70歳以上のドライバーはもみじマーク表示の努力義務があるが、もみじマーク表示車両の専用駐車場を、岩美駅周辺に整備してはどうか

町長 高齢者から専用駐車場の要望は聞いていない

杉村 町民の意見を聞き、町政に反映したい

町長 仮に地域限定免許の制度が導入された場合、今後、駐車場のあり方も検討する

杉村 岩美駅では、跨線橋を渡らなければならない場合が多い。高齢者の方が目的のホームに移動するとき、線路上を歩き来できる改良を、JR西日本と協議しないか

町長 JR西日本は、線路をお客様が横断するのは安全面のリスクが高いため、整備する考えはない。仮に費用を町が負担する場合でも、安全上、整備は行えない

杉村 福部駅は無人駅でも、線路上を歩き来している。福部駅でよろしくて、岩美駅でよろしくないのか。安全面はもちろん大事だが、JRと粘り強く交渉すべきだ

2 (問)100円バスの実施を

(答)乗降調査は運転手の負担となる

杉村 昨年10月から本年9月までの地方バス路線に対して、維持費補助金が1,336万円で、積算は5月の利用実態調査だ。この調査の結果を、100円バスを実施した場合の町の負担額算定に用いられない理由は何にか

町長 運行収入は、各車両が複数の路線を運行し、運賃収入を分けることができない。運賃支払方法は回数券や定期券など現金ばかりではないので、一旦県内路線バスの運行収入をまとめた後に、路線系統ごとに配分する
乗降調査は、路線系等の1キロ当たりの収入を計算する根拠として使用している。得られた数値を直接的に使用するのではなく、乗車人員を確認するものではない

杉村 長野できて鳥取できない理由が、わからない。長野県の飯綱町では、隣の長野市に至るまでの間のバスがあり、飯綱町内は200円の定額だ。日本交通は、距離に応じた料金でなければならないとのことだが、長野電鉄のバスのご協力をいただいて、飯綱町では何十万円かの差額分をお支払いされている。そのようなご協力を日本交通にはいただけないのか



(R02.04.02 岩美駅の1番ホームの真ん中あたりに、ホームから線路上に降りるために階段があったと記憶しています。高校の通学時に利用していました。石積みが少し周辺と異なっています。当時とは異なり、2両までの列車のため、跨線橋を建設したときは状況が変わってきているのではないかと考えています。) EJL11 P4

町長 日本交通に対して協力をいただけない理由は何かとのお尋ねだ。仮に行った場合、どういった補填方法があるのか等々、非常に困難だ。またどれぐらいの影響があるのかも、非常につかみがたい。

(質問に答えていない:杉村)

杉村 どういった影響があるのかということが、ある程度具体的な想定がなされなければ、それに踏み切る踏み切らないという判断ができない。今現在は算出する数字等も持っていないことから、そもそも検討すらできない状態だ。日本交通にご協力いただいて、100円バスにした場合にはどれだけの町の負担額になる、それは検討の範囲内だ。その検討をした後に、じゃあ政(まつりごと)として進めるのか進めないのかを、議会も含めて検討するものだ。そのような乗降のカウントについてご協力をいただくことはできないか

町長 今ワンマンであり、調べることは、運転手さんの負担がかなりある。日交バスと相談し、検討ができる土台に乗れるのであるならば、考えていきたい

3 (問) 岩美病院の医療従事者における勤務時間は

(答) 勤務医一般を下回る

杉村 厚労省の脳・心臓疾患に関する労災認定基準は、発病前1か月に100時間、または2か月から6か月にわたり月平均80時間を超える残業があったことを過労死ラインとしている。2024年から地域医療を担う特定の医療機関や研修医の上限は年1,860時間、勤務医一般の上限は年960時間となる。昨年3月の答弁では、月の時間外労働が20時間であった。近年3年間で、医師等の医療従事者はどの程度の勤務時間、時間外の時間なのか

岩美病院事務長(以下「事務長」) 平成28年度、①診療日数243日。これに7時間45分をかけ、②年間正規勤務時間1,883時間15分になる。職種ごとの年間平均時間外勤務時間は、③医師で220時間。④医療技術員で59時間。⑤看護職員で31時間

平成29年度、①244日。②1,891時間。③225時間。④62時間。⑤33時間

平成30年度、①244日。②1,891時間。③235時間。④62時間。⑤38時間

杉村 勤務医の一般の上限は年960時間だが、大幅に下回っている理解でいいか

事務長 勤務医よりは下回っている

(右の写真はR02.04.02現在で、病院内に貼られている岩美病院の医師等の名簿)

E/L11 P5

4 (問) 町行政の情報公開を

(答) 定例記者会見なし、不祥事公開は今後から

杉村 不祥事を起こす企業、団体に共通するのは、風通しの悪い組織風土である。仕事の進め方や方向性について想定外の疑問や意見、結論や提案が示されたときに、対話することなく排除することとなれば、人々の思考は停止し、組織は硬直化していく。岩美町ルールなどと言われるような世間に通用しないローカルルールがなくてはならず、そのような部分が垣間見られる。町行政から町民に対する情報公開はいつも不十分だ

町長の記者会見は行われたことがないが、主権者に近い、マスコミ等の記者会見は全く行わないのか

町長 定例記者会見の考えは持っていない。町民の皆さんにぜひともお伝えしなければならない案件の場合や、私が必要と判断した場合は当然に行っていく

杉村 大山町長は、自治体からの声明は民主主義の根幹だとしている。民主主義の根幹に関して首長が判断したときだけではなく、主権者側のほうが適切なとき、定例的なほうが、民主主義の根幹により近い

杉村 大山町長は、マイナス情報こそ伝えるものと考えて、適切に広報している。町職員の不祥事は、町の広報紙で情報の公開等はなされていない。しないのか

町長 不祥事等により職員を法に定める懲戒処分を行った場合、報道各社へ情報提供している。不都合な情報を隠してない。情報公開が不十分だと思っていない

杉村 通告しているのは、町行政から町民に対し公開しないのかということだ。具体的には町のホームページ、広報紙とかには載せないということか

町長 今後はホームページで随時情報提供していく

杉村 今後ではなく、せめて議会特別委員会で審議されている案件については公開すべきだ



《令和2年3月12～23日杉村宏議員予算質疑等》

令和2年度予算に対する杉村宏議員の質疑など

問 歳入の交通安全対策特別交付金が数年前から大きく減額している。この交付金は交通違反を行ったときの反則金が原資で国から交付されるものだが、高規格道路の整備を含む道路環境の改善により、岩美町域が事故・違反の少ない地域となったことを町民とともに認識を確認するべきだ。

(決算額としてH25は121万円、H26は85万円、H27は85万円、H28は80万円、H29は69万円、H30は52万円、10年以上前は予算額200万円)

答 反則・死亡事故が少なくなった。理由の分析は持っていない。R1年度は交付額がない見込みだ。

杉村宏議員の意見:岩美町域が、地域高規格道路の整備等により、交通事故・交通違反の減少を受けて、交通安全対策において、国から特別に交付を受ける地域ではなくなった現状を町民とともに共通の認識とする必要がある。

従来からの事故や違反は、道路の状況に起因するところが大きく、町民のモラルの問題はより小さいものであったとすべきだ。いわゆる交通安全運動が運転のモラルを訴え、その効果に起因して違反が減少したというような捉え方をすべきではない。(同時に、運転モラルの向上対策はないがしろにするべきではありません。)(杉村宏議員の自宅周辺の国道178号改良時とよく似ています。改良前に毎年当たり前のように発生していた複数の事故と、改良後に事故の発生がなく、歩行者が創設された歩道を当たり前のように安心して通行できている状況になったこととの差と感じています。)

(178改良詳細は「歩道できました?」を参照願います)

問 議長交際費(65万円)は、R1年度実績(27万円程度)に合わせて30万円程に減額するべきだ。行政を質す立場が議会であり、その長が直接かわる予算でありながら執行率が半分以下であるならば、予算の在り方として、行政に対し示しがつかない

答(議長) 試行錯誤しながら執行している。令和2年度の様子を見たい。

問 町長交際費(150万円)は、H30、R1年度と2年続けて執行率が5割弱だ。H30は100万円以上、R1も半分以上の執行残が見込まれる。特別な事情が見込められないならば、R1年度実績に応じた予算額(80万円程)にするべきだ。当初予算であり、必要なら補正の機会もある。町長が直接執行にかかわる予算であり、財政規律からして

他の予算に示しがつかない。実績の倍以上の予算案は放漫財政の見本のような予算措置で、他に見ない

答 町長の責任で執行する

(いつものことながら、質問の趣旨に答えていない。)
予算執行実績等:H25①予算額200万円、②執行額187万円、H26①200万円、②193万円、H27①200万円、②199万円、H28①200万円、②199万円、H29①200万円、②179万円、H30①200万円、②93万円、R1①150万円、②見込72万円、

H30年から町HPに支出状況を公開、H29年以前分は公開しない(H30.6.12西垣町長)

問 ㈱日本交通に対する町内の路線バス運行への補助として、地方バス路線維持費補助金の計上が当初予算案にない。R1年度3月補正で1336万円(新たに加わった快速便分213万円を含む)を予算措置したが、毎年多額な予算を補正対応している。補助の対象期間は10月から9月で、既に半分程度が終了し、支出しなければならない現状だ。前年度実績程度を当初予算案に計上し、しっかりと予算審議の対象とするべきだ

答 当初予算に計上すべき事項だが、従来から補正対応している(説明になっていない。)

問 職員駐車場利用協力金(308万円)の内訳は

答 町職員260人と金融機関や病院出入り業者の30人ほどの利用で、月1000円の協力金だ

問 海岸漂着物清掃事業委託金(470万円)は、岩美町内において鳥取県が管理する海岸(東浜漁港以外全ての町内海岸)に漂着する海岸ごみを、町が県の委託を受けて行っている清掃事業に対しての委託金だが、前年に比べて120万円増額している。増額理由は何か

答 R1年度も当初予算350万円に加えて160万円増額した。実績に応じたものだ



(R02.04.02 浦富IC付近の風景。)

町営代替バス運行委託料の積算

令和2年度の代替バス会計に計上されている日本交通(株)に支払う運行委託料は3,857万円で、その積算は以下の(1)から(4)の合計との説明でした

杉村宏議員は、運転手さんの出勤から退勤までのすべての時間(分割取得の場合があるとしても昼休憩等の時間も含めて)を委託料の対象(岩美町が支払うべき時間)としていることなどが問題であるとして、1年前のR1年度当初予算、及び、R2年度当初予算案に反対いたしました。反対議員は杉村宏議員と升井祐子議員の2名のみで、予算案は原案どおり可決しました

なお、委託料積算にあたって、町は(株)日本交通が運転手の出勤から退勤までを拘束しているとして、すべての時間を委託料の計算に用いて欲しいとしていることに従い積算したとの説明でしたが、これでは岩美町が(株)日本交通の言いなりになっている予算案ということになります

- (1) 運転手費用 2,542万円(万円以下切り捨て)
 - (2) 管理職員費用 262万円
 - (3) 25%の経費 701万円 (1) + (2) の25%
 - (4) 消費税 10% 350万円
- 合計:3,857万円

(1) 運転手費用は、年間運行日数363日の延べ時間 13,737 時間を、1年間の一人当たりの労働時間 1992 時間(8 時間×20.75日×12 か月)で割って、6.9人役として、一人当たりの年間人件費 3,685,220 円(22 万円/月額×16.751月)を乗じています。

(以下は、めんどくさいので飛ばし読み願います。)

延べ時間 13,737 時間は、平日 3 交番(以下の交番A、B、Cの1日あたりの合計は 42 時間 31 分、244 日)、土日祝日 2 交番(D、Eの1日あたりの合計は 28 時間 16 分、119 日)で、各交番の出勤から退勤までの時間等は次のとおり

交番A:①出勤時刻5:38、②退勤時刻:18:08、③差引12時間30分、③の内訳、④運行時間6時間33分、⑤待機時間59分、⑥点検30分、⑦非運行時間 4 時間 28 分

交番B:①5 時 55 分、②20 時 47 分、③14 時間 52 分、④7 時間 54 分、⑤1 時間 51 分、⑥30 分、⑦4 時間 37 分

交番C:①6 時 04 分、②21 時 13 分、③15時間09分、④7 時間41分、⑤1 時間38分、⑥30 分、⑦5時間20分

①交番ABCの合計に 244 日に乗じた時間:③10,374 時間、④5,400 時間、⑤1,090 時間、⑥366時間、⑦3,518 時間
交番D:①5 時38分、②19時53分、③14 時間15分、④8時

間23分、⑤1 時間42分、⑥30 分、⑦3時間40分

交番E:①6 時 04 分、②20時05分、③14時間01分、④7 時間32分、⑤1 時間47分、⑥30 分、⑦4時間12分

②交番DEの合計に119日に乗じた時間:③3,363 時間、④1,894 時間、⑤414時間、⑥119時間、⑦936時間

①と②を合計し、出勤から退勤までの合計は③13,737 時間で、その内訳は④運行時間 7,294 時間、⑤待機時間 1,504 間、⑥点検時間485時間、⑦非運行時間 4,454 時間となります。委託料の中には非運行時間(その中には、当然に労働者に与えなければならない休憩時間が含まれていると考えます。)を含んでいます。

人役数を算出するにあたり、分子に休憩時間を含めるのであれば分母にも含めるべきで、いたずらに人役数を増やす計算としています

(2) 管理職員費用は、「営業所に所長(主任クラス)を配置し運行管理業務を行う。ただし、他の業務も兼務するため、町営バスに関する業務は 0.5 人役で積算」とし、5,258,200 円/人・年×0.5人≒2,629,100 円との説明だった

代替バス業務とは別に、岩美南小学校の 3 台のスクールバス運行も(株)日本交通が受託しており、管理職員費用の 3 割をスクールバス運行委託料として支払っている。

したがって、町営代替バス(5 割)と南小学校スクールバス運行(3 割)の業務で、(株)日本交通の岩美営業所の管理職員費用の 8 割を町が負担している。本当に正当な負担なのか。納得ができる説明を受けていません

(3) 経費の内容がよくわかりません

(4) 消費税は、町の直接雇用であれば支出はありません



(R02.04.02 町営バスを直接運行いただいている日本交通の岩美営業所) E/L11 P7

「読者の声」前号投函時等のR1.10.9~24の間に頂きました

(この間の全部で、頂いた順です。本誌掲載分を含めて、毎月月初に前月分をHPに掲載しています。)

- ◎誰かと思えば、ご苦労さん。忙しいでしょうお。時々、新聞に難しいことを出していますね。書くことが趣味なのはいいことです(浦富地区)
(3回投稿して、1回程度の新聞掲載です。HPのFC「折々」に没原稿等を掲載しています)
- ◎これを読むのがいつも楽しみです。待ってました。ありがとう(浦富地区)
- ◎号外発行は有り得ない。こんなことが行われたことが信じられない。
岩美町議会はとてもおかしい(岩美町以外の町議の方)
- ◎岩美で何がしたいのか。〇〇に出ればいいではないか。たぶん当選する。
今日、挨拶された〇〇は、人間として器量が小さすぎる。そんなことはすぐわかる。あんたの方が断然いい。何で出ないのか(岩美町以外の町議の方)
(行うことを決定するのは議会のみ。議会が決定したことを行う組織の長が〇〇です。)
- ◎(本誌を)もらえない?(岩美町議会議員)
(号外発行に深く関与された岩美町議会議員からの発言です。)
- ◎宏さん。あんたも大変だなあ。「ゲロゲーロ」配ってるんだろ(浦富地区)
(本人配布を承知してもらっているだけでありがたうらしいことです。また、「モルゲンロート」という誌名がわかりにくいと、よく聞かせていただいています。変えますか?)
- ◎ご苦労様。いつも読ませてもらっています(浦富地区)
- ◎ご苦労様です。「杉村ひろし連絡事務所」の看板を、駐車場に置いてもいいですよ。置いてください(浦富地区)
(看板は建物があるところでなければ許可されません。せっかくのありがたすぎる申し出でありましたが、丁重にお断りさせていただきました。)
- ◎号外が発行されたことを知らなかった。今の議長が不適切として、号外を町議会のHPから取り消したのに、議会だよりで何の説明もしていない。岩美町議会は号外を配られた町民の立場を理解していない(浦富地区)
- ◎文字数が多すぎる。読む気にならない(蒲生地区)
- ◎全部読ませていただきました。普通、こういった政治的なものは自分の主張のみ書かれていますが、本誌は、いろいろな人の意見が記載されており、面白いと思いました。中身がある紙面です(浦富地区)
- ◎町民の皆さんに読んでもらうことは考えないほうがいい。読まれなくても、一軒ずつ配っていることが大事で、杉村宏議員は、そうゆうことをする人間であることが徐々に浸透していけばいい。だいぶん認識が広がっているのではないかと。本誌を見て、HPを見ようとされる方は多くない。本誌を見ても見なくても、HPを見る人は見るし、見ない人は見ない。紙面とHPをリンクして考えないほうが、岩美の多くの人にはあっている(浦富地区)
- ◎杉村さん? 本人ですか? いつも読ませてもらっています。定期的に配っているのですか。TV放送も見ています。よくやっています。高齢で足も悪く、傍聴には行けません(岩井地区)
- ◎本誌の内容が多すぎて、読み切れない。知らないことを多く教えてもらうことはありがたいけど、年4回にして内容を分散して欲しい(浦富地区)
(年4回投函は難しいです。申し訳ありません。)
- ◎よう。読んだで。お前のを読むとようわかる。他のもんは書けるようなことは何もしていない(蒲生地区)

編集後記 「読者の声」の上から6番目、やっぱり、そうだ。「モルゲンロート」という単語はわかりにくいし、しゃべりにくい。最初に誌名に関わってきた経過を少し反省します。(本人に聞き、私が、それがいいと名付けました。)

この度の「ゲロゲーロ」には、大笑いさせていただきました。そうなんだろうなあ。言いやすいし、何か昔聞いたことがある。それなりに似ているし、面白い。影の誌名にさせてもらおうかと、編集長の権限で考えています。何事も明らかにしたいし、発行の趣旨にも合うようです。わかりやすいことが一番です。

そもそも、本誌は文字数が多すぎる。とっつきにくい。(本人が頑固で、なかなか簡略しません。)HPを運用するようになったのだから、詳細はHPの記載に譲り、限りある紙面としては、読みたくなるきっかけの記事でいい。

コロナウイルス対策で、人との接触を避けるようにとされていますが、本人は趣味の山歩き(単独行)やオートバイの運転で、気ままに単独行動しているようにみえます。もう少し、パンデミックと言われている状況を深刻に受け止めるべきです。フン、フン! (=^・^=)👉

クイズの答えは、駒澤大学准教授によると「数学」だそうです。

モルゲンロートは、朝日が高峰の頂きよりあたり始め、明るいオレンジ色に輝く様です。杉村宏が高校総体で早朝の南アルプス北岳の輝く姿を観て感動し、明るい今後でありたいとの想いから誌名としています。



(R2.4.2 小田ひとひらの桜) **ERL11 P8**